

第2回衛星設計コンテスト

最終審査会

「あっ」と言わせる
手づくりのおいしいアイデア募集



開催日：1994年8月28日(日)

開催場所：科学技術館内サイエンスホール

〒102 東京都千代田区北の丸公園2-1

電話 (03) 3212-8471 (大代表)

ホール直通 (03) 3212-8485

●地下鉄 東西線・竹橋駅下車

半蔵門線/都営新宿線・九段下駅下車

(各駅徒歩7分)

コンテスト概要

応募区分：アイデアの部、設計の部

設計条件(設計の部)：重量50kg以内、

打上げ時形状45cm×45cm×45cm以内

応募資格：大学院、大学及び高等専門学校の学生の個人またはグループ(グループの場合は、指導教官を含んでもよい。)

提出資料：概要説明書、ミッション解析書、模型、その他ビデオ等
設計の部では上記に加え、衛星設計書

スケジュール：参加登録締め切り 平成6年3月15日

応募締め切り 平成6年6月1日

最終審査 平成6年8月28日

審査：第1次審査 書類審査により10件程度を選定

最終審査 第1次審査被選定者による発表会審査

問合せ先：財科学技術広報財団 衛星設計コンテスト事務局

〒105 東京都港区芝大門1-3-10 コスモタワービル7階

TEL 03(3459)8115 FAX 03(3459)8116

主催：日本機械学会、日本航空宇宙学会、電子情報通信学会、
科学技術広報財団

後援：文部省、科学技術庁、郵政省、宇宙科学研究所、
宇宙開発事業団

協力：小型衛星研究会

第2回衛星設計コンテスト最終審査会プログラム

開催日：1994年8月28日(日)

開催場所：科学技術館内サイエンスホール

開 会

- 13:00～13:10 実行委員会会長挨拶
13:10～13:20 審査委員紹介
13:20～13:30 最終審査発表者の紹介

アイデアの部 1件25分(10分の質疑を含む)

- 13:30～13:55 ターミネーターD
渡辺 泰之 東京大学大学院工学系研究科機械情報工学専攻
- 13:55～14:20 プラネタリウム衛星
高野 敦 横浜国立大学工学部建設学科海洋工学コース
- 14:20～14:45 微小重力下における液滴の分裂実験
苗木 龍 東京都立航空工業高等専門学校航空工学科
- 14:45～15:10 広告衛星
圓岡 大治 東京大学工学部航空宇宙工学科
- 15:10～15:30 — 休憩(20分) —

設計の部 1件35分(15分の質疑を含む)

- 15:30～16:05 デブリ観測衛星
柳沢 宏 東京工業大学理工学研究科機械物理工学専攻
- 16:05～16:40 デブリ観測用小型衛星
矢木 一博 東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻
- 16:40～17:00 — 休憩(20分) —
- 17:00～17:20 映画上映(時代は宇宙へ)
- 17:20～17:30 審査結果発表
- 17:30～17:40 表彰
- 17:40～17:50 審査委員長のことば

閉 会

前回(第1回)衛星設計コンテストの紹介

本コンテストは、学生諸君の宇宙への熱意を具体的な「もの」に結実する一つのモチベーションを提供することにより、宇宙工学に対する理解を深めてもらうことと共に、宇宙工学の底辺拡大、新しい宇宙ミッションの発掘、さらには低コストな宇宙開発への気運の向上などを目的にしています。宇宙開発委員会や宇宙開発の実施機関からも高い関心を寄せていただき、目的達成に向けて順調にすべり出しました。

今回は、昨年(第1回)衛星設計コンテストに続く第2回目の開催となります。第1回衛星設計コンテストの最終審査会は、平成5年8月12日(日)「宇宙の日」に、科学技術館で開催されました。当日約120名以上の参加を得て成功裡に第1回目のコンテストを終了しています。最終審査会に残った作品は、理論的・技術的には多少甘いところもありましたが、そのアイデアの奇抜さ・大胆さやアマチュアなりの創意工夫には見るべきものがあり、「専門家の見過ごしていた点についている」という審査委員からの声のできる力作ばかりでした。

学生の手による小型衛星の打上げは、アメリカ、イギリス、ドイツなどで既に実現されており、その方面では日本は立ち遅れていると言えます。このコンテストも将来的には、模型ではなく優秀作品を実際に製作し打ち上げることを目標としており、さらにそれを通して、このコンテストが日本における小型低コスト衛星打上げの機会を整備する気運を高めるものになることが期待されます。